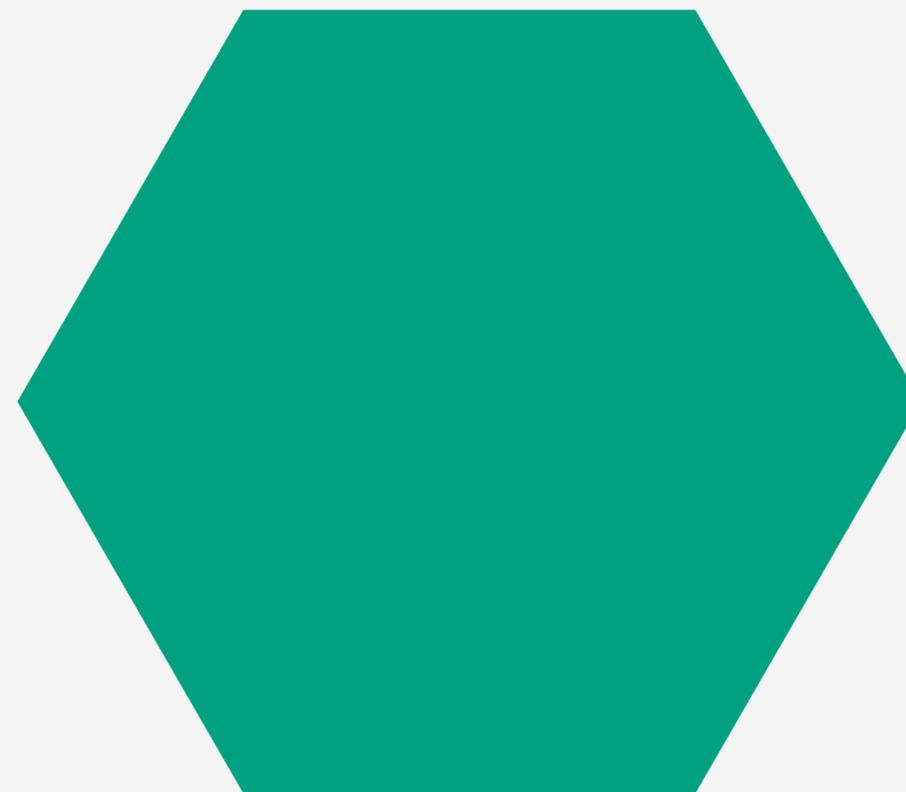




研究テーマ

「教員の授業力向上」
指導と評価の一体化



仮説

「学習課題把握」「自力解決」
「相互学習」「振り返り」

意図的かつ計画的に取組・実践することで主体的な取組をさせることができるだろう

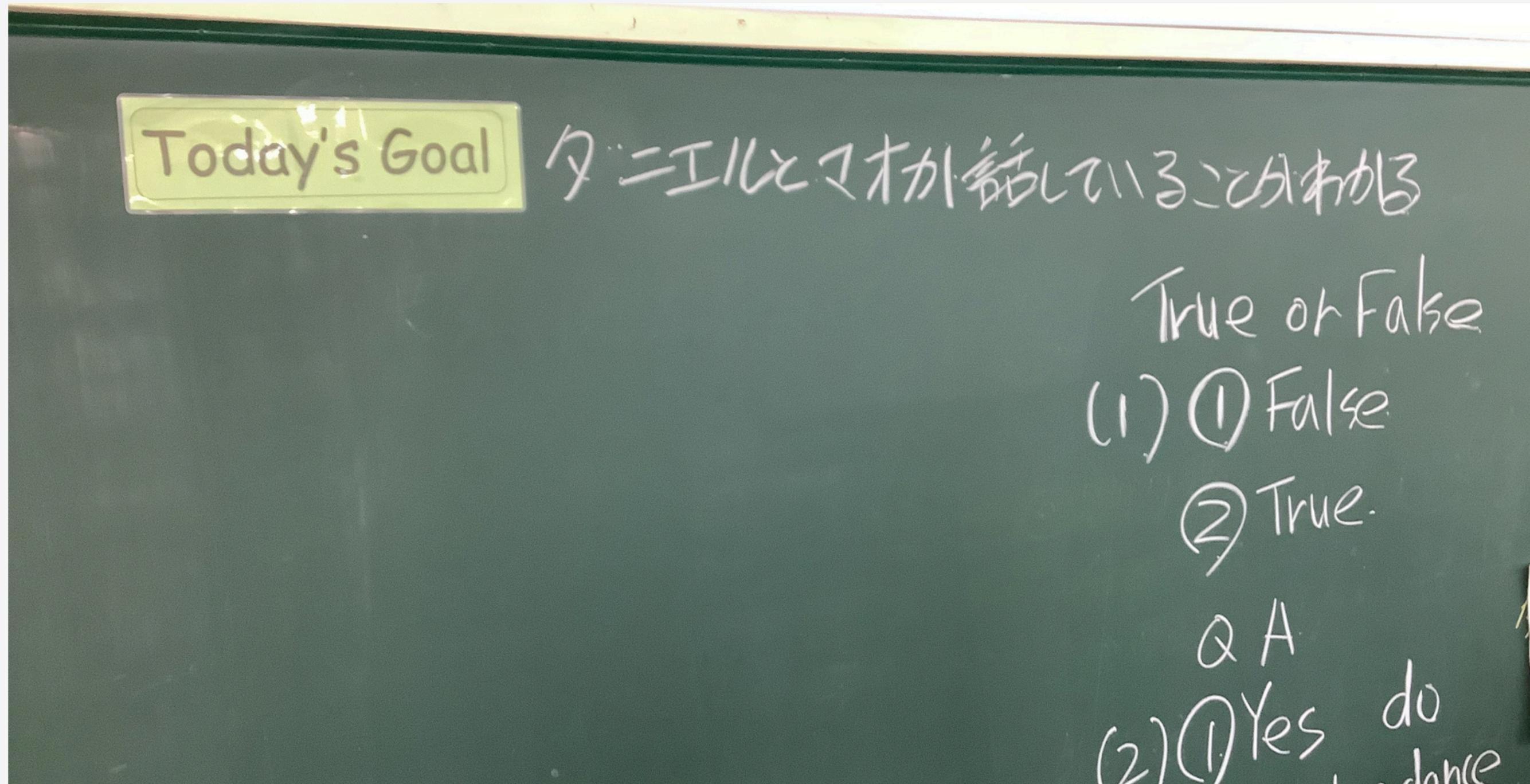


授業方法の確立

- 
- ① 毎授業で学習のねらいや評価項目を掲示

 - ② 全教科ルーブリック評価作成と配布、生徒自身による自己評価と相互評価

① 毎授業で学習のねらいや評価項目を掲示



ルーブリック評価とは

絶対評価のための判断基準表のことで、学習達成度を図るための評価方法の一種

ルーブリック評価とは

評価点

評価項目

	3点	2点	1点	自己評価
正確性	技の形や手順がほぼ正確で、安定している。	技の形が少し崩れることがあるが、基本的な形は維持できる。	技の形が安定せず、正確な動作が難しい。	
安定性	常に安定した動作ができスムーズに動ける。	ほとんど安定しているが、わずかに不安定になる場面がある。	動作が不安定で、修正が必要な場面が多い。	
連続性	複数の動きを滑らかに連続して行うことができる。	複数の動きをほぼ滑らかに連続して行うことができるが、途中で止まることがある。	複数の動きを連続して行うのに苦労する。	

評価基準

評価する観点【技能・思考・主体】←1つ以上○を付ける。

② 全教科ルーブリック評価作成と配布 生徒自身による自己評価と相互評価

教科 保健体育	学年 2年	作成者 []
------------	----------	------------

単元「陸上:短距離走・リレー」

評価する観点【技能・思考・主体】←1つ以上○を付ける。

レベル	4点	3点	2点	1点	自己評価
スタートの技術と反応	スタートダッシュが非常に速く、反応が完璧	スタートダッシュが速く、反応も良好	スタートダッシュが普通で、反応も平均的	スタートダッシュが遅く、反応が遅い	3
バトンパスの正確さ	バトンパスが非常にスムーズで、ミスが全くない	バトンパスがスムーズでほとんどミスがない	バトンパスに若干の乱れがあるが、致命的なミスはない	バトンパスに大きな乱れがあり、ミスがある。	4
走行速度	走行速度が非常に速く、スピードが落ちない	走行速度が速く、スピードを落ちない。	走行速度が普通で、スピードが若干乱れる。	走行速度が遅く、スピードが乱れる。	3

配点
 ※レベル1を1点、レベル2を2点、レベル3を3点として採点し、最高点を12点、最低点を4点とする。
 換算(得点 ÷ 6 × 5)として10点満点とする。
 生徒評価 A...8~10点 B...5~7点 C...3~4点



全教科ルーブリック評価作成と配布、生徒自身による自己評価と相互評価

数学 レポート課題

年 組 番 氏名 _____

評価の仕方【ルーブリック評価】
下の表を見て、該当する視点で点数をつけていきます。自分のレポートが評価項目に該当するかに注目して作成しましょう。

1学期 レポート課題 自己評価シート

	課題場面の数学化（思考力）	数学的表現力	主体的に取り組む態度
S	現実的な場面を正しく数学化しており、その妥当性を説明できている。	自分の考えを式や用語などを用いて正しく表現・処理し、また、解決過程を振り返り、得られた結果の意味を考えている。	2つ以上の要素の正しい比較でもって妥当性を説明しており、提出期限を守っている。
A	現実的な場面を正しく数学化している。	自分の考えを式や用語などの表記を活用して正しく表現・処理することができている。	1つ以上の要素の正しい比較でもって妥当性を説明しており、提出期限を守っている。
B	現実的な場面を正しく数学化しようとしているが、考え方に一部誤りがある。	自分の考えを式や用語などの表記を活用して表現・処理しようとしているが、一部誤りがある。	1つ以上の要素で比較しようとしており、提出期限を守っている。
C	現実的な場面に数学的な要素を見つけることができていない。	自分の考えを式や用語などの表記を活用して表現・処理できていない。	提出期限を守っていない。
自己評価			

*自己評価は（S・A・B・C）を記入する

次の課題(1)~(3)の質問について考え、レポートにまとめること。
ただし自分が出した答えが何なのかは明確にわかるように記すこと。
レポート用紙は複数枚になっても構わない。
レポート用紙は1枚配布するが紛失した場合は自分で準備すること。
レポートが完成したら上のルーブリック評価をもとに自己評価を記入し、この紙を表紙にしてステープラ止めて提出すること。

提出期限
5月15日（水） できた人から直接、立入に提出する。

課題

運動会でクラス対抗の大縄跳びを行います。
5分間で跳んだ最高回数で競います。優勝するためにはどのような作戦をとればよいか考えます。
大縄跳びをするのに「2列跳び」と「3列跳び」でやってみると次のような記録が得られました。

2列  3列 

記録

	並び方	記録（回）					並び方	記録（回）			
1日目	2列	19	12	16	20	6日目	2列	18	14	22	33
	3列	17	8	16	20		3列	22	11	33	29
2日目	2列	20	18	11	24	7日目	2列	17	19	16	23
	3列	8	18	21	24		3列	31	23	11	28
3日目	2列	11	28	12	21	8日目	2列	24	29	30	26
	3列	25	30	9	19		3列	37	17	25	34
4日目	2列	13	19	22	24	9日目	2列	31	36	35	32
	3列	10	18	26	27		3列	24	20	12	46
5日目	2列	28	13	29	26	10日目	2列	25	24	34	30
	3列	19	30	11	16		3列	36	19	41	35

(1) この資料を参考にして跳び方の違いによりどのような違いがあるでしょうか。図や表、グラフ、式、数値などを用いてまとめなさい。

(2) (1)の結果をもとにして「2列跳び」と「3列跳び」のどちらで跳ぶほうが良いかを決め、その理由を説明・考察しなさい。

(3) (2)の結果をより精度の良いものにするには他にどのようなデータをとるべきか例を挙げなさい。その理由を書きなさい。

全教科ルーブリック評価作成と配布、生徒自身による自己評価と相互評価

(回) ① 2列、3列 それぞれ1日の最高記録 ② 度数分布表

<2列>		<3列>	
階級(回数)	度数	階級(回数)	度数
5~10	0	5~10	3
10~15	7	10~15	5
15~20	8	15~20	9
20~25	7	20~25	7
25~30	10	25~30	6
30~35	6	30~35	5
35~40	2	35~40	3
40~45	0	40~45	2
合計	40	合計	40

③ 代表値

	2列	3列
平均値	22.35	22.4
最頻値	27.5	17.5
範囲	25	38

① のヒストグラムから、1日の最高記録では、10日中7日が2列の1日の最高記録より回数が多く、残りの3日が2列の最高記録と同じ回数になっているため、1日の最高記録を見ると、3列の方が記録が高い。

- ③ の表から、3列で跳んだ記録の方が、一番回数の少ない記録から、一番回数の多い記録までの範囲が広く、記録が低いときと高いときの差が大きい。
- ③ の表の最頻値で見ると2列の方が最頻値が高い。

(2) 私は2列跳びを選ぶ。

(理由) 3列跳びは、最高記録と最低記録の差が大きく、結果が安定していない。一方で2列跳びは、最高記録は3列跳びほど高くないが、最低記録もあまり低くない、範囲が狭いため、記録が安定している。また、最頻値が、3列跳びより2列跳びの方が回数が多いことから、2列跳びの記録が安定していることがわかる。

なので私は、安定した記録が得られる2列跳びを選ぶ。

(3) 記録を計る日数を増やして、精度を上げる。

数学レポート 2309 補修課題

(1) 2列跳び

記録(回)	度数	累積度数
5~10	0	0
10~15	7	7
15~20	8	15
20~25	10	25
25~30	7	32
30~35	6	38
35~40	2	40
40~45	0	40
45~50	0	40
合計	40	

3列跳び

記録(回)	度数	累積度数
5~10	3	3
10~15	5	8
15~20	9	17
20~25	17	34
25~30	6	40
30~35	5	35
35~40	3	38
40~45	1	39
45~50	1	40
合計	40	

(2)

- 2列跳びのヒストグラムの山は中央に寄っており、3列跳びのヒストグラムの山はやや左側に寄っている為、2列跳びの方が大抵跳びた回数が多いことが記録の数値から読み取れる。その為私は2列跳びを選んで練習を続ける。

分布の差

(3)

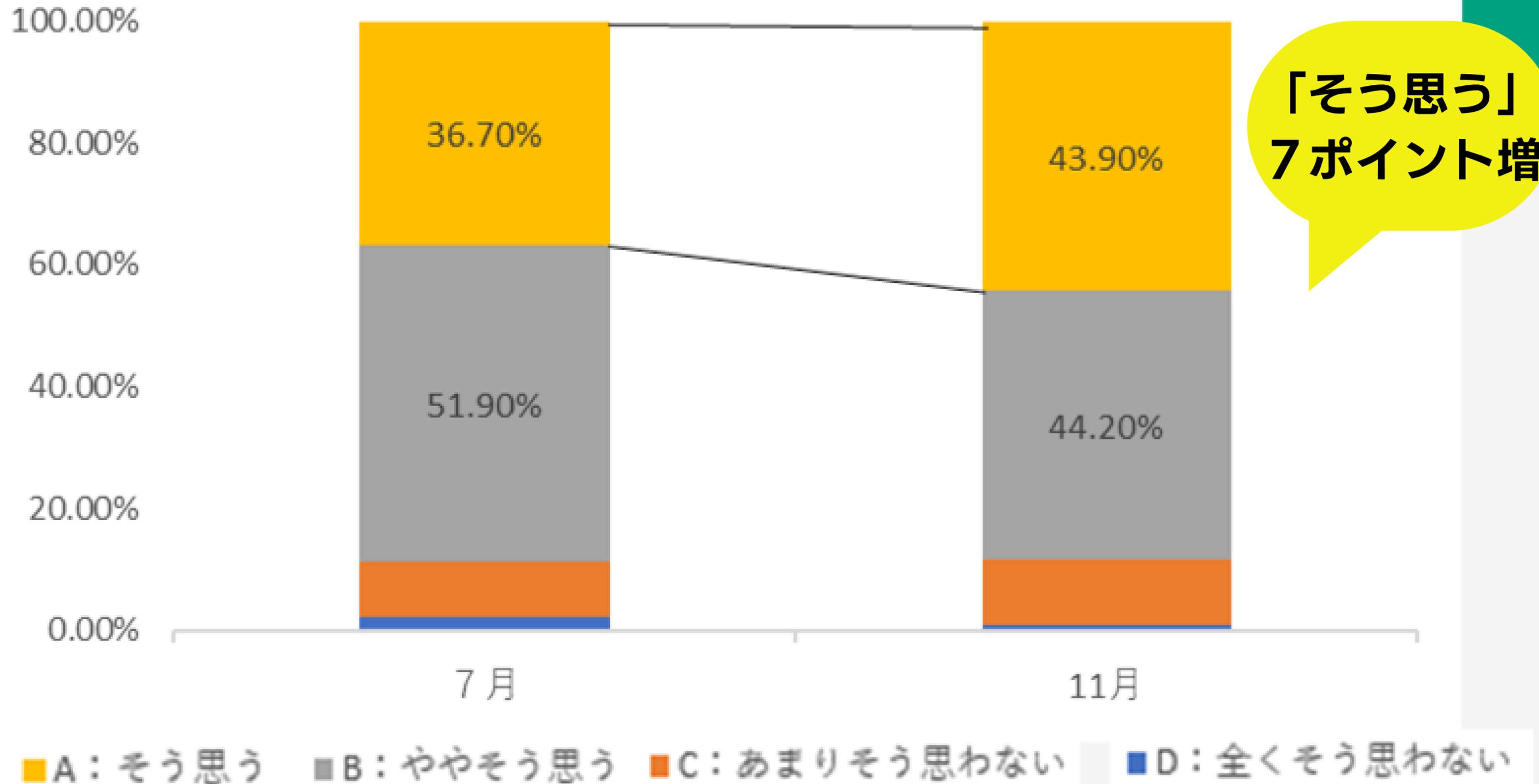
- 私がより精度の良いものにするとすれば2列跳び。1日は相対度数をヒストグラムを用いて表す。理由は多量のデータを集める分母を比較できる為。2日は各データの分布の特徴を表す。理由は範囲や最頻値、模範最頻値などの特徴を表す。3日は平均値と比較できる為。3日は右側を調べると、理由は右側を調べると、相対度数を調べるとある一定の値に近づくため、その値より精度の良い分母になる為。

検証方法

7月・11月にアンケート実施

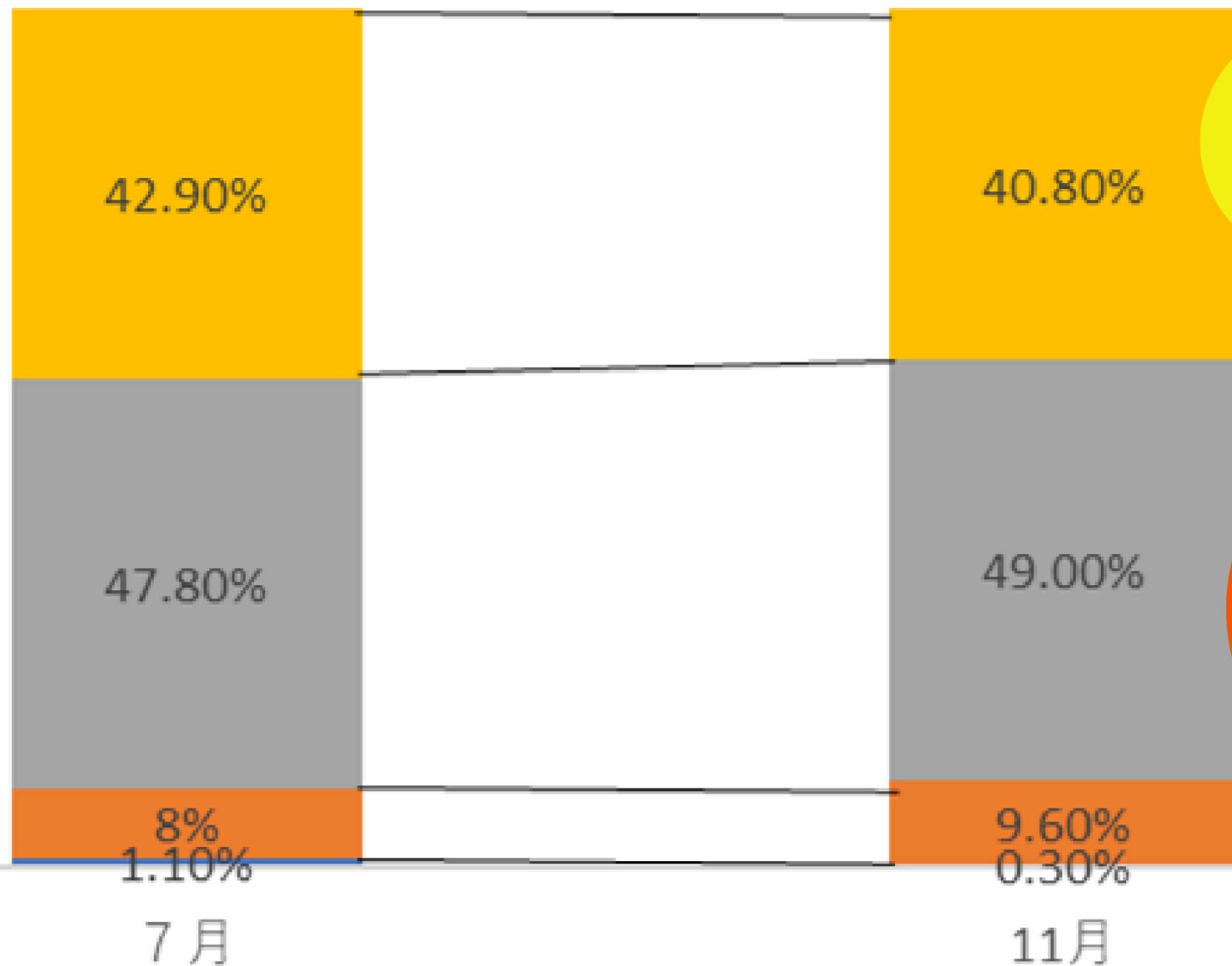


本時の目標の掲示が授業中に示されたことで、**学習の指針**（どのように頑張ればいいのか）となりましたか？



ループリック評価の基準はわかりやすかったですか？

100.00%
80.00%
60.00%
40.00%
20.00%
0.00%



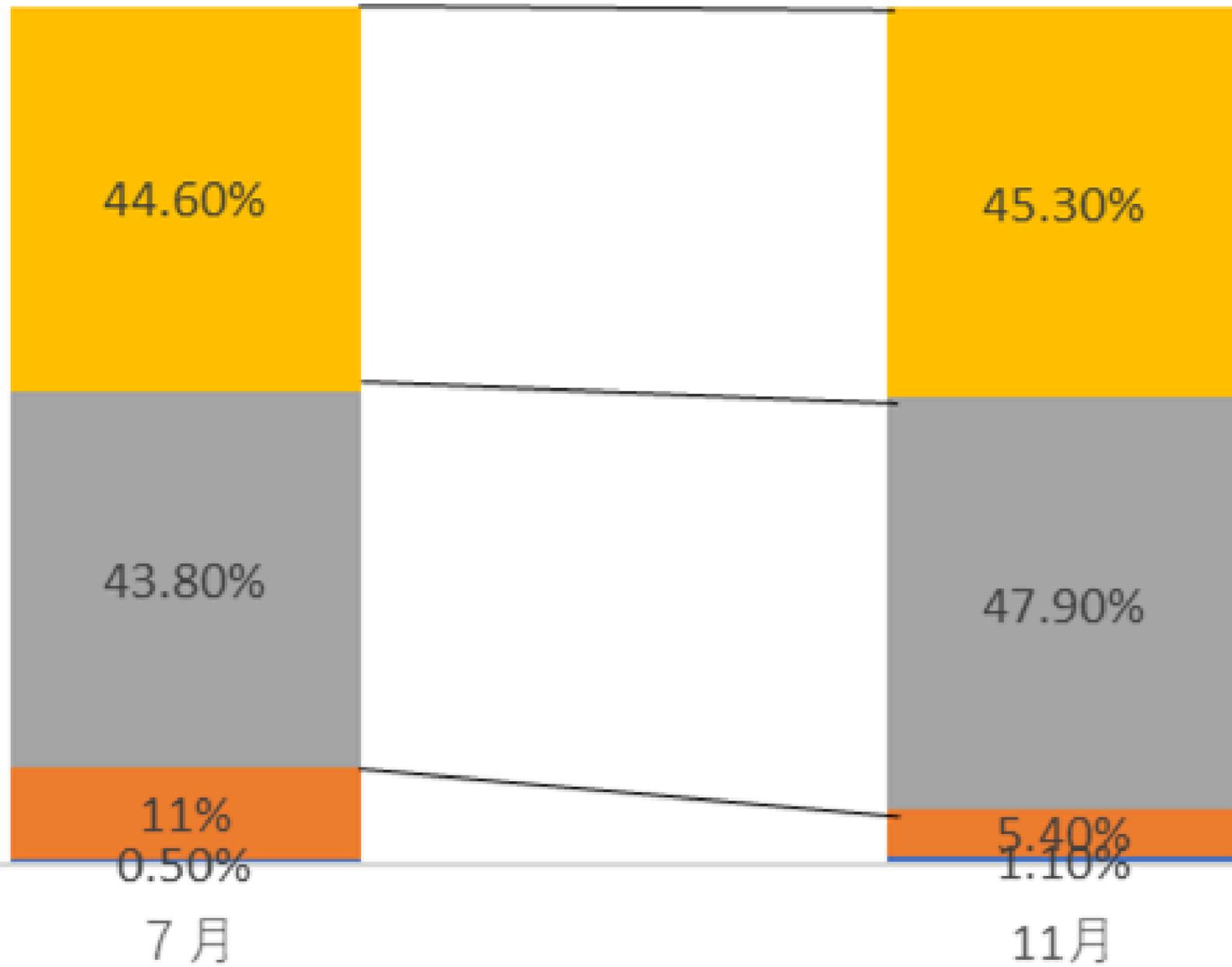
「そう思う」
2ポイント減

「あまりそう
思わない」
2ポイント増

■ A: そう思う ■ B: ややそう思う ■ C: あまりそう思わない ■ D: 全くそう思わない

ループリック評価は公平だと思われましたか？

100.00%
80.00%
60.00%
40.00%
20.00%
0.00%

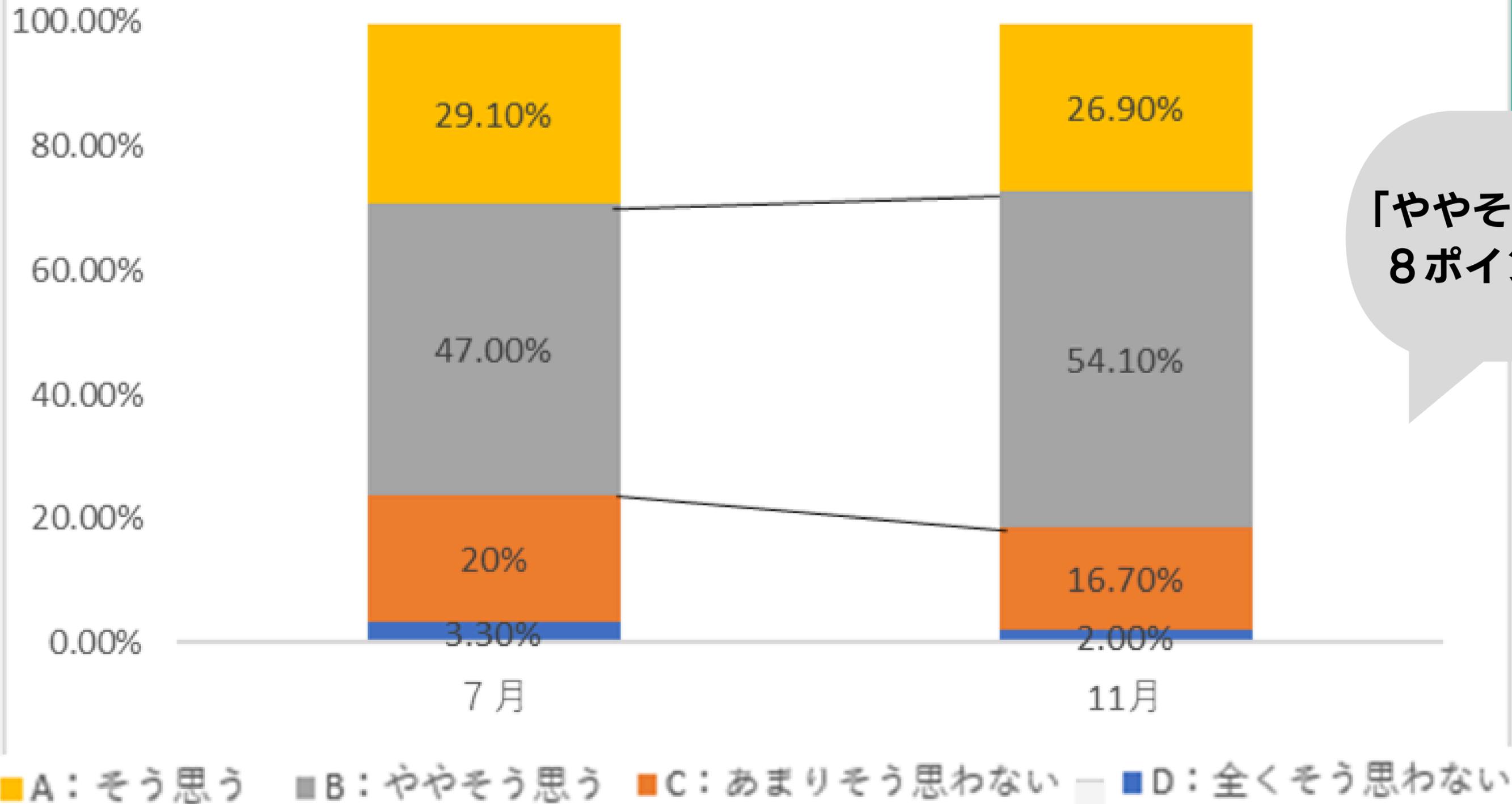


「そう思う」
1ポイント増

「やや思う」
4ポイント増

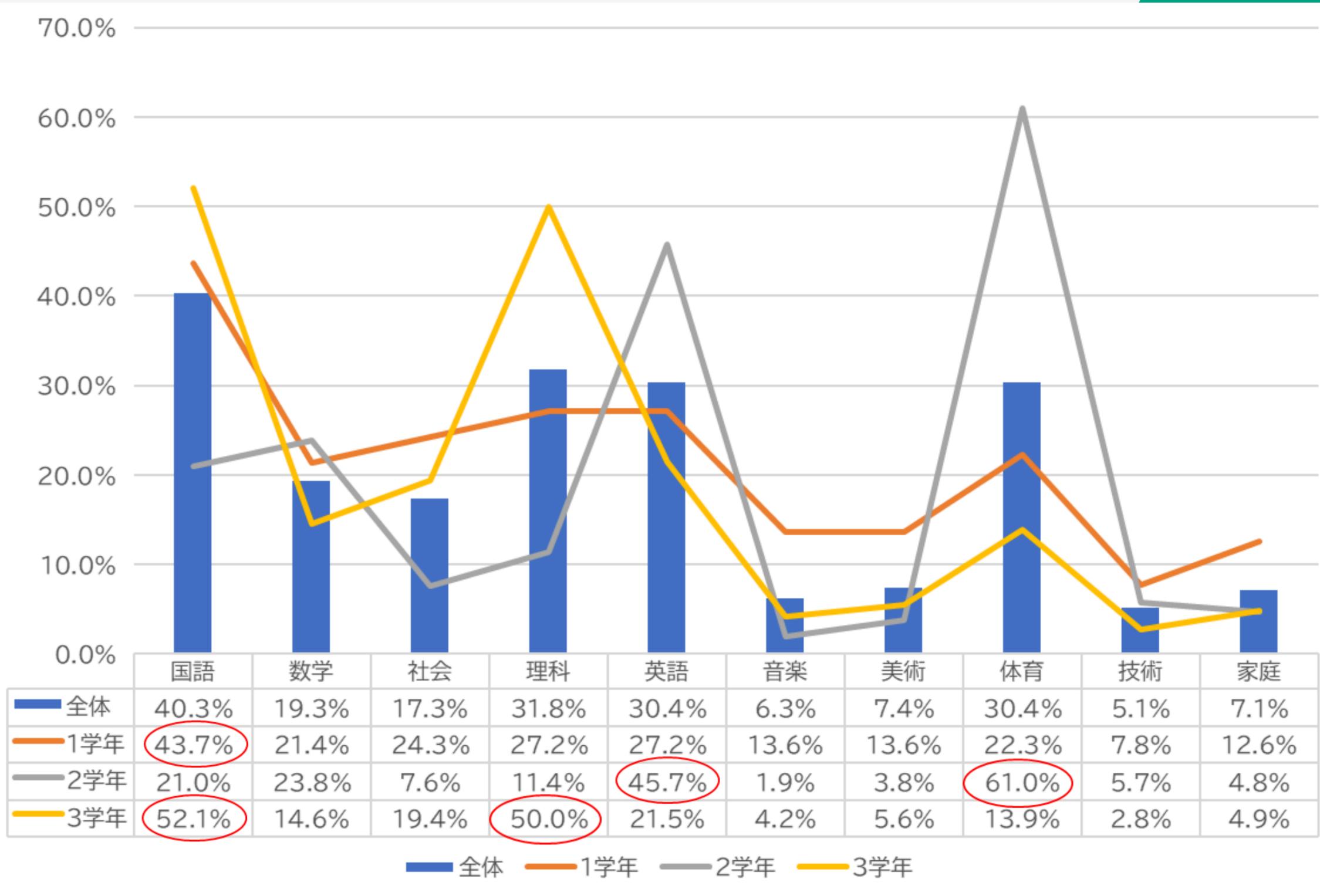
■ A: そう思う ■ B: やや思う ■ C: あまりそう思わない ■ D: 全くそう思わない

ループリック評価を導入したことで、自ら学ぼうとする意欲が高まりましたか？



「ややそう思う」
8ポイント増

ルーブリック評価を使った授業や提出物の中で印象に残っている（分かりやすかった、取り組みやすかった）教科はありますか？（複数回答可）



全体：352名
 1年：103名
 2年：105名
 3年：144名

考察

- 3年生“国語”、“理科”については、年間を通じたルーブリック評価を示し、各単元の振り返りを対象としていたことが生徒にとってわかりやすいものとなっていた。
- 2年生“体育”、“英語”については、単元の特徴に合わせたパフォーマンスのルーブリック評価を示したことが生徒にとってわかりやすいものとなっていた。

11月アンケート＜自由意見＞

- このまま続けてほしい
- 全教科ルーブリック評価をやってほしい
- 他の教科も活用してほしい



成果

仮説

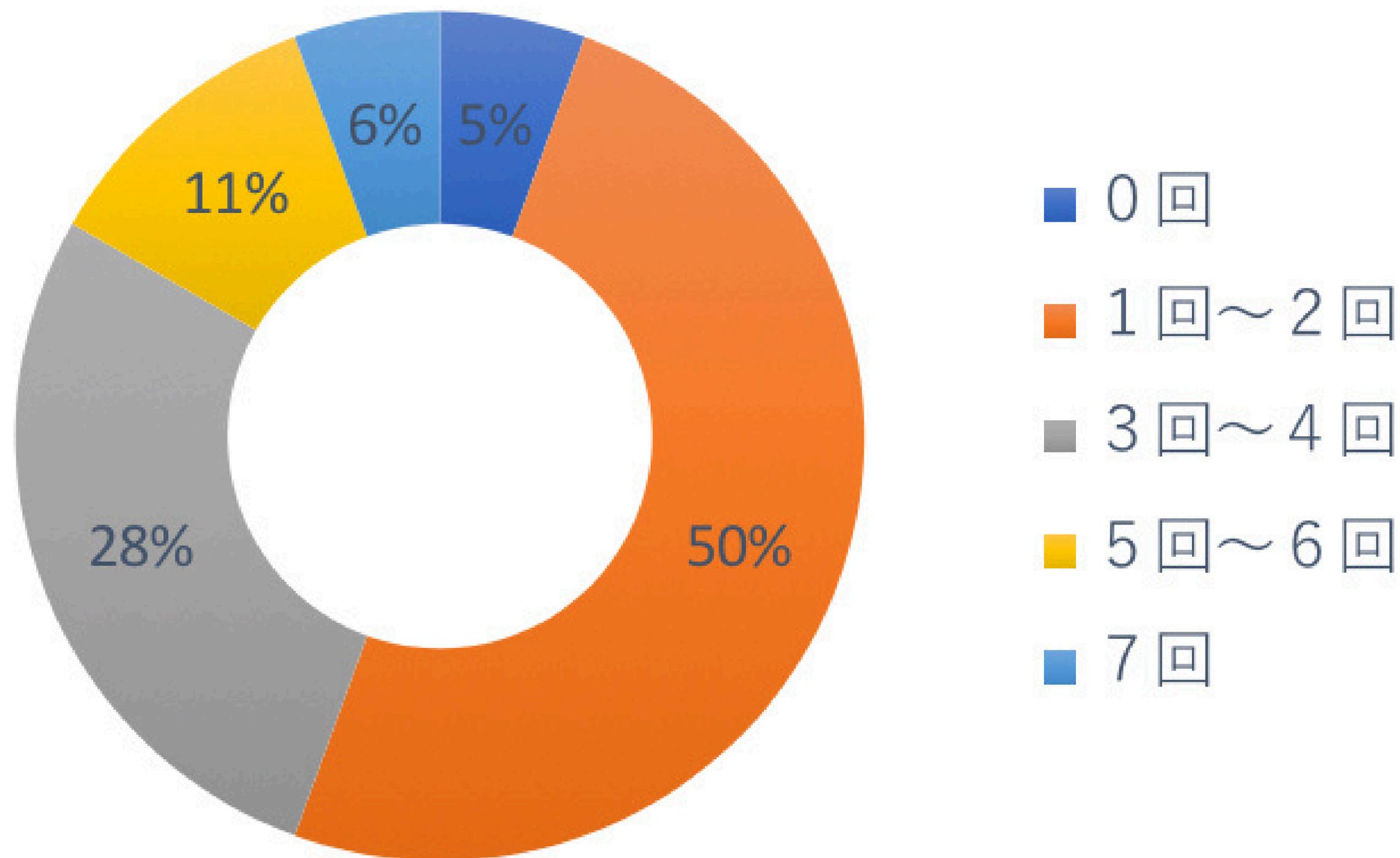
意図的かつ計画的に取組・実践することで主体的な取組をさせることができるだろう

毎授業で学習のねらいや評価項目の掲示やルーブリック評価を導入したことで、生徒自らが課題を理解し、**学習に向かう姿勢が向上した**

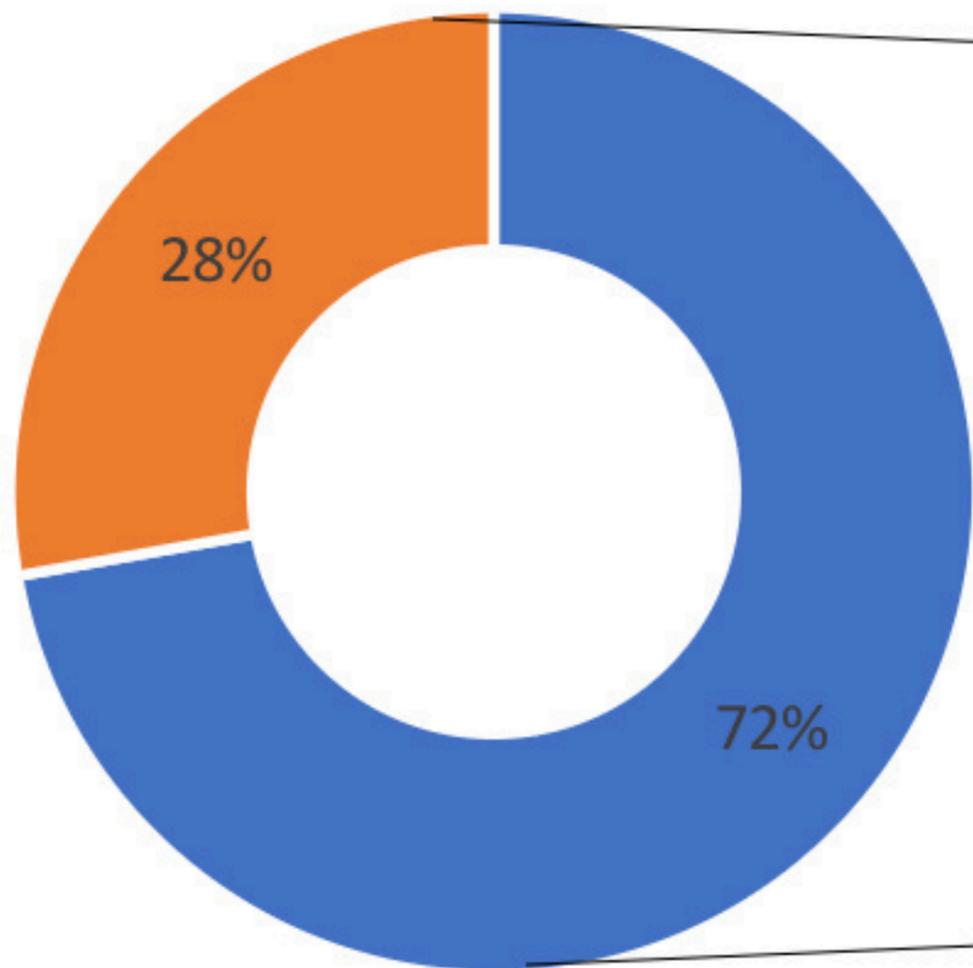
教員が生徒に「何をわからせ」「何をできるように」させるのが、**生徒と共有**することができ、評価の透明性が向上した

作品やパフォーマンス評価について、ルーブリック評価の有効性があった

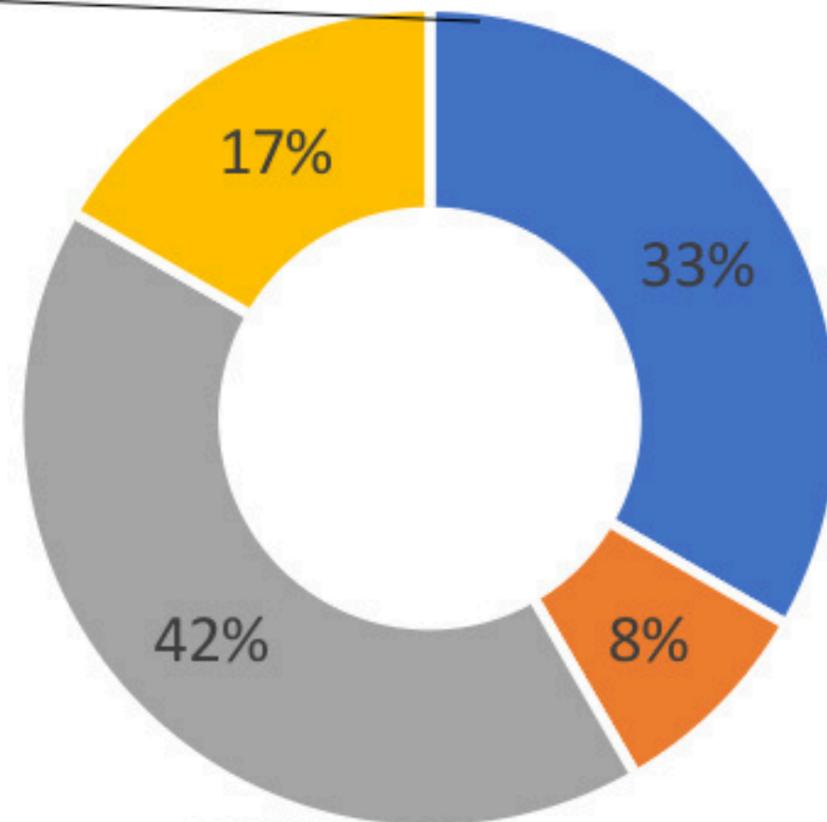
一年間ルーブリック評価を何回活用しましたか。



どのようなことに手間を感じましたか

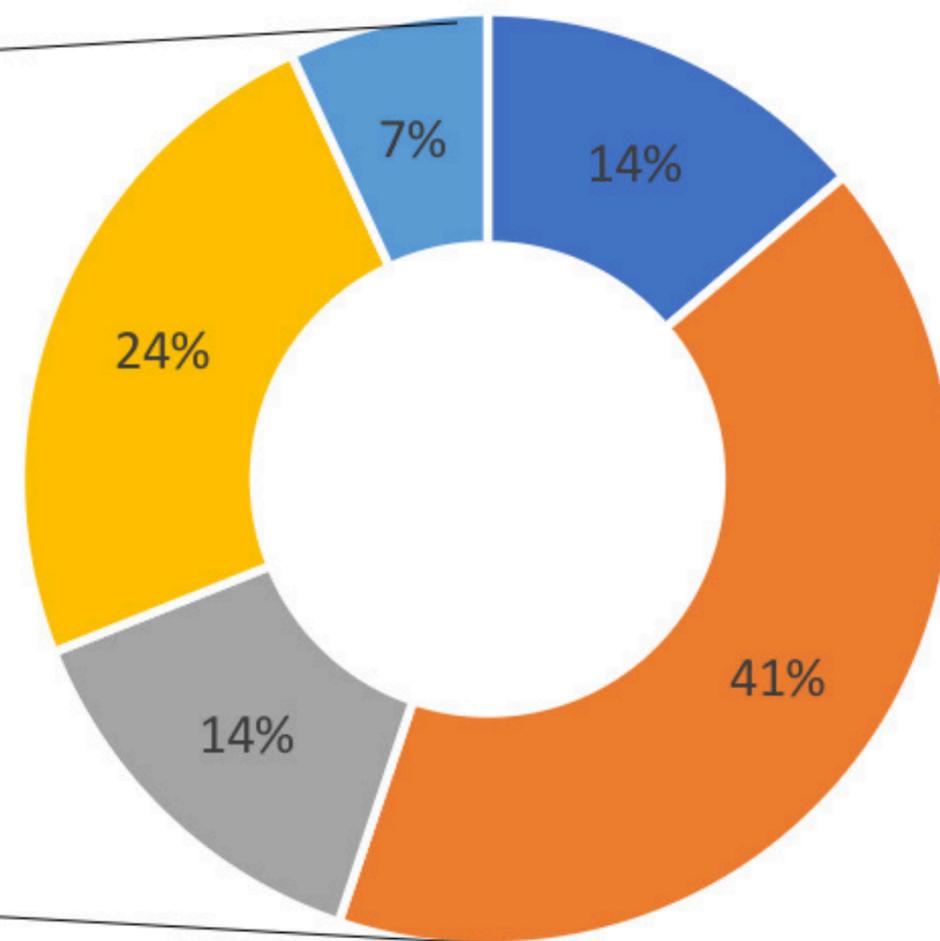
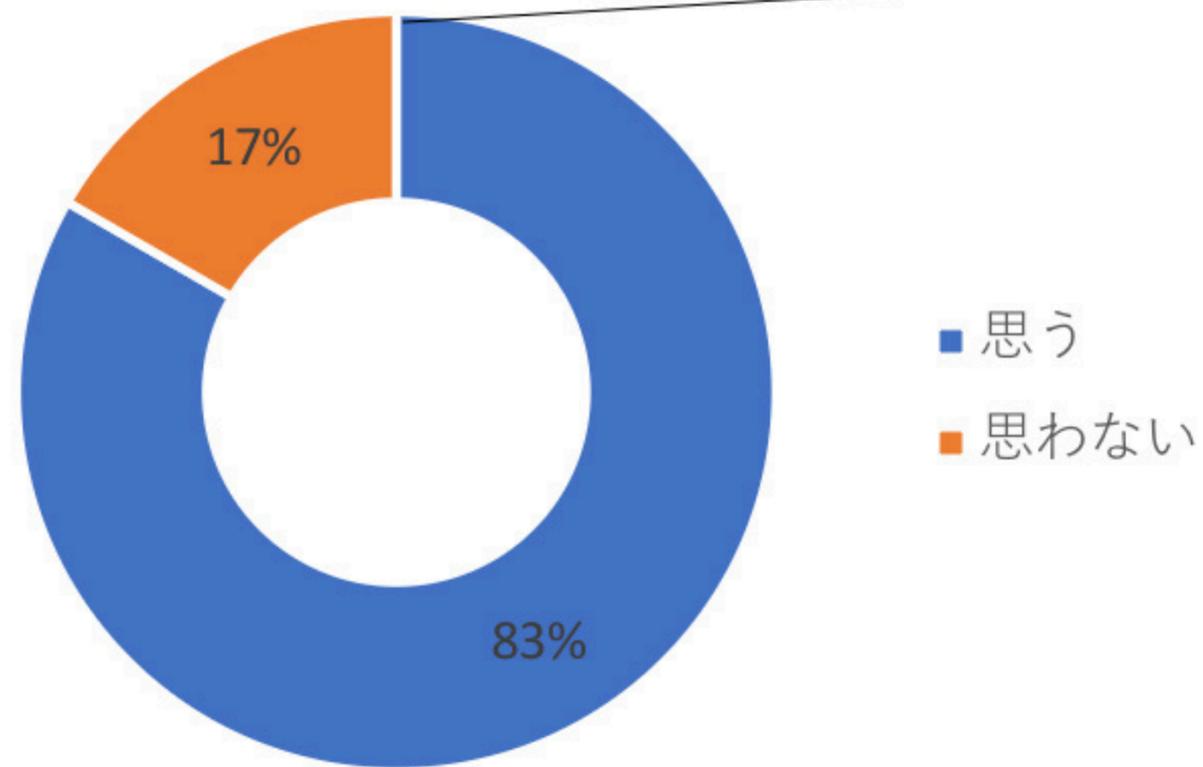


- 感じる
- 感じない



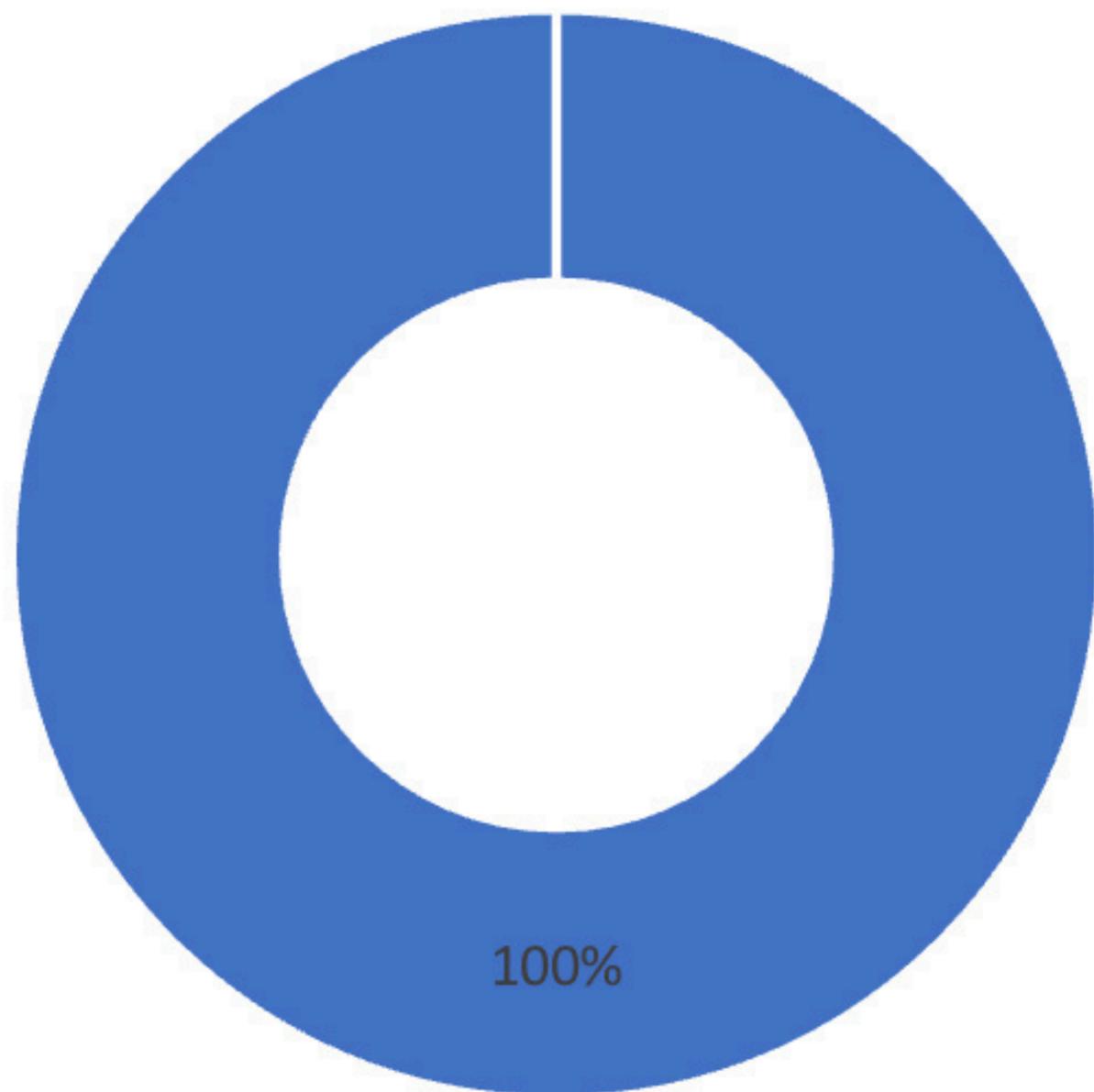
- 作るのにとても時間がかかる
- 他教員との合意形成を得るのが手間
- 評価レベルの言語化が難しい
- 何度も修正する必要があった

継続したいと思いますか。それはどんな理由がありますか



- 生徒の反応が良かった
- 今までよりも評価の付け方が明確になった
- 生徒が主体的に学習に向かうように感じた
- 自身の授業力向上につながると感じた
- その他

教員の授業力向上につながると感じましたか



■ 感じる

全教員が授業力向上につながると感じている

課題

ルーブリック評価の精度が教科間で違いがあった

教員側の意識改革

ルーブリック評価は形成的評価

